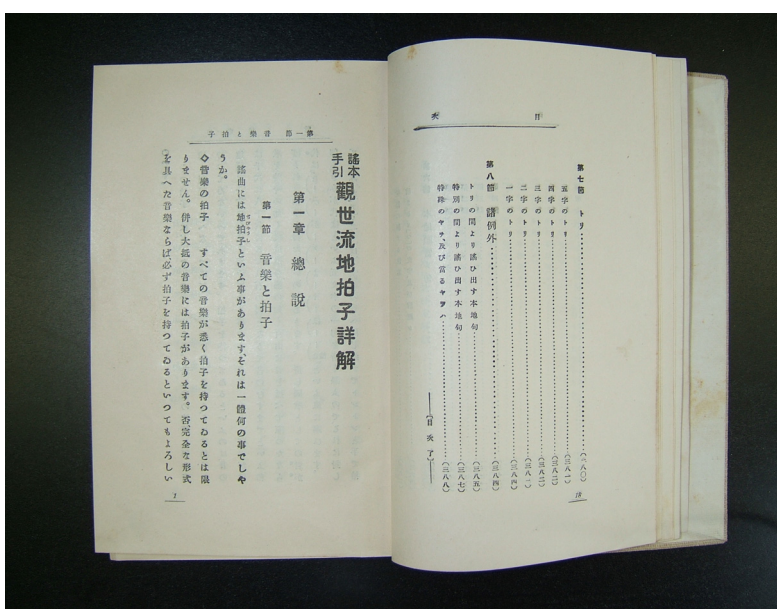
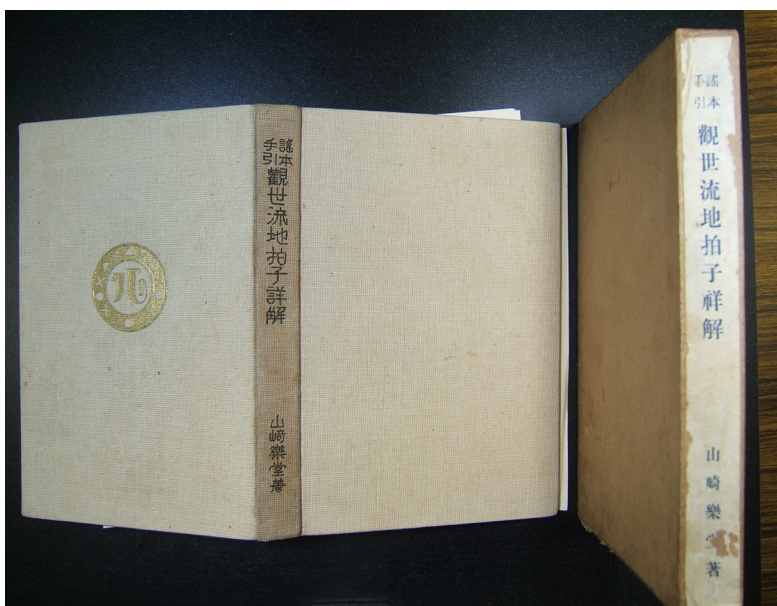


山崎楽堂 『謠本手引 観世流地拍子詳解』

自序によれば、著者の最終的な目的は、流派ごとの地拍子解説本を作成することにあつた。『地拍子精義』（36頁）のような諸流対照や拍子練習方法の詳説はあくまでも方便だったらしい。本書は『地拍子精義』を観世流にそつて再編集したにすぎないという印象を与えるが、内容について詳しく見た上の意見ではない。なお、大正十年、山崎は本書の他にも『拍子講義』（わんや書店）を刊行し、地拍子の普及に力をそそいでいる。



標題 内題…謠本手引 観世流地拍子詳解

標題紙…謠本手引 観世流地拍子詳解

全

奥附…

その他…謠本手引 観世流地拍子詳解

(背)、謠本手引 観世流地拍子

祥(ママ)解(函背)

著者 奥附…山崎楽堂

その他の場所…工学士 山崎楽堂(標題

紙)、山崎楽堂(背・函背)

出版 版次…第一版

出版地…東京

出版社…観世流改訂本刊行会

出版年…大正10(1921)

その他の場所…序 大正10(1921)

形態 冊数…一冊十函 頁数…三九〇頁

寸法…19×13(cm)

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考